

季刊

はまかせ



国家公務員共済組合連合会

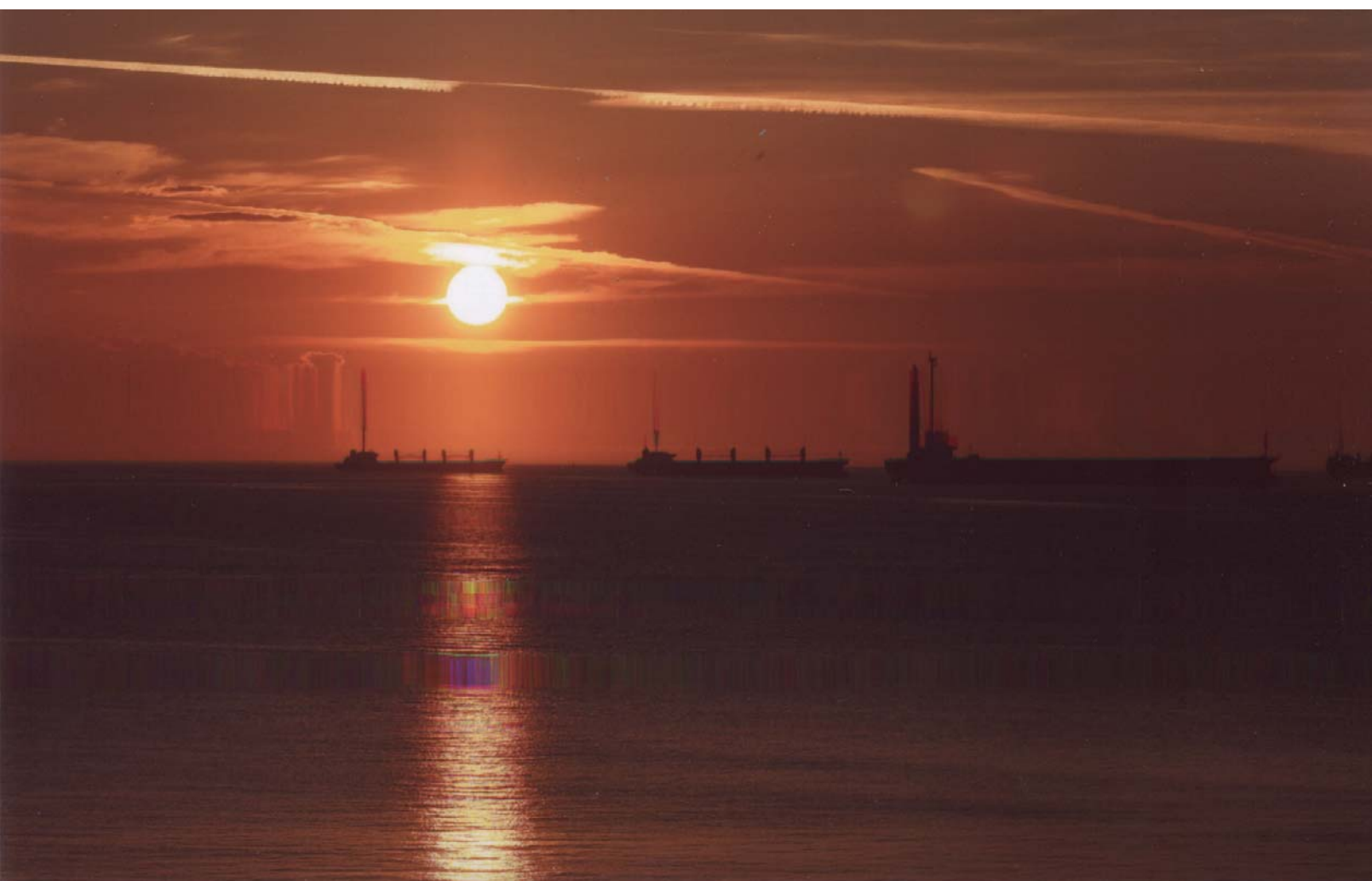
浜の町病院

日本医療機能評価機構・平成16年認定

Hamanomachi Hospital

2015
JAN.

第57号



C O N T E N T S

- 新年のご挨拶.....一宮 仁・平野 礼子
- 専門の立場から
「最近の予防接種と当院小児科病棟の変化」.....武本 環美
- 転倒予防教室.....芝 浩之
- 生活習慣病予防展を開催して.....樋口 則子
- クリスマスコンサート ～オカリナ演奏～.....佐々木恵子
- 市民公開講座.....地域医療連携課
- 外来診療担当医一覧

(写真提供：谷口良雄／中央手術部部長)

理 念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>



院 長 一宮 仁

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は世界中の至る所で争いごとが続き、日本も近隣諸国との関係改善が得られませんでした。また、各地で天災による悲惨な被害が続出しました。本年は干支である羊の由来通り、ご家族、組織、国家が安泰で、穏やかな一年となることを願っています。

さて、浜の町病院は、新病院に移転して一年が経過しました。移転当初は、患者さんも職員も、新しい建物、病棟の再編、外来ブロック制、同時に導入された医療機器、電子カルテ、フィルムレス化、院外処方、オール電化、セキュリティシステムの強化等々、新しい診療体系に戸惑いがあり、対応に時間がかかったり、外来の待ち時間が長かったりしましたが、職員の弛まない努力により程なく円滑な診療ができるようになりました。患者さん目線を重視した近代的な建物でIT化された診療情報の共有化により、安全性や療養環境は旧病院に比べ格段に改善されたことを実感していますが、医療で最も大切なことは医療従事者と患者さんのコミュニケーション、組織内でのコミュニケーションであることに変わりはありません。今年度実施しました患者さんへの意識調査結果は、従来に比べあらゆる項目で改善されており安堵いたしました。一方で、今後の課題も明らかになってきましたので、2025年に向けた病床機能制度、医療制度の改訂を視野に入れながら、課題に取り組んでまいります。

課題の一つに病院へのアクセスの悪さがあります。駐車場を十分に確保しましたので自家用車での来院は便利となりましたが、公共交通機関を利用される患者さんには天神からのアクセスが悪くご苦勞をおかけしています。引き続き改善へ向けて努力致したいと思います。

登録医の先生方には、多くの大切な患者さんをご紹介戴きまして感謝申し上げます。職員は数多くの症例、難しい症例を経験して成長できます。そして、その積み重ねが病院組織の大きな力になります。昨年4月の診療報酬改定により、急性期病院では看護必要度の見直しによって一層の在院日数の短縮が義務づけられました。登録医の先生方とのより細やかで緊密な病診連携が必要になりますので体制を強化したいと思います。

昨年4月に院長に就任し、責任の重さと浜の町病院の素晴らしさを身を以って実感しています。立場が変わり初めての業務に苦慮することもありましたが、スタッフの皆さんのご協力、登録医の先生方のご支援、患者さんの笑顔など、多くの方々に支えられ、穏やかに新年を迎えることができました。これからも皆様のご支援とご指導を戴きながら、地域医療支援病院、福岡県がん拠点病院としての責務を果たし、医療の質を高め、患者さんの満足度、職員の満足度と充実感・達成感の高い病院となるよう舵を取って進みたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2015 年（平成 27）



看護部長 平野 礼子

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年、広島県の豪雨による土砂災害、御嶽山の噴火、四国や北信越の豪雪などの自然災害や10代の若者による肉親や友人を死亡させる事件など何かと暗いニュースの多い年だったように思います。そのような中、ノーベル物理学賞を赤崎、中村、天野教授が授与されたことは、日本人として誇らしく、心が明るくなる嬉しい出来事でした。

医療界においては、4月に診療報酬改定が行われ、2025年を見据えた医療機能の分化や地域医療計画の推進を促進するような改定の内容となり、変革の年となりました。

当院にとりましては、1年を通して新しい病院で過ごす初めての年でした。患者の皆様へ明るい室内環境を提供する広い窓と建物の外周に配置された病室の構造から夏場の空調を懸念していましたが、平年並みの暑さだったことも幸いして大きな問題はなく乗り切ることができました。

「患者さんにより近く、安心・安全な医療の提供」のコンセプトで配置されているスタッフコーナーやスタッフステーションは、対応が迅速にでき患者さんの安心感に繋がっている一方、医療者側の立てる物音（機器などの準備音や話し声など）に対するご意見などもいただきました。今後、更なるより良い療養環境の提供を目指し運用の見直し等に取り組んでまいりたいと考えています。

外来におきましては、受け付けが科別からブロック制へと大きくシステムが変更されました。「外来診療運営協議会」を設置し“待ち時間の改善”などに向け、科別のルールではなく全体のルール整備を進めております。

今年は新しい病院に移って2年目の年になります。人が立って歩みを進めるように、建物の特性を活かしながら患者さんにより良い医療を提供できるよう、職員一同、一歩一歩確実に歩を進めていきたいと思っております。

本年もどうぞご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



最近の予防接種と当院 小児科病棟の変化



小児科部長
武本 環美

高齢者の肺炎球菌ワクチンも定期接種になり、啓発CMが流れています。大人の予防接種が変化しつつあるようです。子供の予防接種もこの10年で大きく変化しました。2004年、子供が就学前に接種すべき公費の予防接種はBCG1回、3種混合ワクチン4回、ポリオ生ワクチン2回、麻疹ワクチン1回、日本脳炎3回の計9注射でした。2014年現在、同じく公費の予防接種は、Hib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)ワクチン4回、肺炎球菌ワクチン4回、四種混合(以前の三種混合に不活化ポリオワクチンを加えたもの)ワクチン4回、BCG1回、麻疹風疹ワクチン2回、水痘ワクチン2回、日本脳炎ワクチン3回の計20接種に倍増しました。また、任意接種でロタウイルスワクチンも認可されました。B型肝炎ワクチンも、乳幼児における水平感染からキャリア化のリスクが指摘されて以来、任意接種の希望者が増え、接種率が上がっております。小児科学会はVPD(ワクチンで防げる病気)から子供を守ろうということで、ムンプスワクチンも定期接種化を希望しています。この変化とそれに伴う当院小児科病棟の疾病構造の変化を時間順に少し詳しくお話します。

麻疹は以前から散発的な小規模流行を繰り返しており、2000年には、旧病院の北3階小児科病棟にも成人を含め、数名の麻疹患者さんが入院しました。国は麻疹輸出国の汚名返上のため、まず、2006年から就学前の2回目接種を定期化しました。その直後2006-7年に抗体価の低下が関係したと考えられる若年成人での麻疹流行があり、2回目接種を受けていない中学生、高校生での2回目接種も行われました。その結果、国内発生は激減し、輸入麻疹が

ほとんどになりました。昨年は新病院の6B病棟でも、帰国後に発症した輸入麻疹を1例診療しました。しかし、他県では今年になって未接種者である0～1歳児の国内感染での発症や、幼稚園等での流行も報告されております。診療頻度は激減しましたが、大変感染力の強いウイルスには変わりありませんので、定期の予防接種が重要です。

2008年にHibワクチンが認可され、2010年に肺炎球菌ワクチンが認可され、ともに2011年から公費接種になりました。全国的に公費接種が開始されたのは3月1日で、多くの接種が行われました。同月4日までに複数名の死亡例がでて、一旦接種見合わせになったことを記憶している方もいらっしゃると思います。その1か月後、安全性に問題はないとして接種再開され、徐々に接種者も増えました。インフルエンザ菌による髄膜炎は2008年には5歳未満人口10万人に対し、年間8.3人でしたが、2013年には同3.3人まで減少しました。

当科でも小児の細菌性髄膜炎は2009年に接種直前の1歳児を診療したのが最後で、以後基礎疾患のない新生児期以降の細菌性髄膜炎の発生はありません。同時期から、1日1回投与でよい静注抗菌薬や、内服抗菌薬の進化もあり、細菌性肺炎、細菌性中耳炎、尿路感染症などの抗菌薬静注のみを行う入院患者さんは減少しました。これらの夜間に児を起こすような処置がない入院患児は2008年には4割弱でしたが、2013年には2割になりました。一方、保育開始の低年齢化に伴い、RSV感染症や、低月齢の肺炎等の患者さんが増え、モニター管理、酸素投与を受けている児が増えました。夜間も吸入、吸引等があり、病棟の夜勤看護師は忙しくなりました。



2011 年末から認可されたロタリックス、ロタテックが予防するロタウイルス胃腸炎は乳幼児がかかると重症化する可能性があるウイルス性胃腸炎です。当科でも 2009 年 4 月から 2011 年 4 月までの新生児を除く小児の入院患者さん 835 人のうち、ロタウイルス性胃腸炎の患者さんが 41 人いました。うち、脳症 1 名、高ナトリウム血症による意識障害 1 名、腸重積 1 名と重い合併症を伴う方もいました。同時期のほかのウイルス性胃腸炎は 42 名で重い合併症を伴う方はいませんでした。ロタウイルス性胃腸炎の入院期間は転院した児を除いて 5.4 日、他の胃腸炎では 4.2 日で、入院期間が長いのも特徴です。

2013 年以降はロタウイルス性胃腸炎が減り、ノロウイルスの迅速検査キットが導入されたこともあり、ノロウイルス性胃腸炎の患者さんが増加しました。2014 年の小児の入院患者さん 491 人のうち、

ロタウイルス性胃腸炎は 13 人、そのほかの胃腸炎（ノロウイルス性 13 人を含む）24 人と、他の胃腸炎は減少せず、入院を要するロタウイルス性胃腸炎の児が激減しました。ノロウイルス性胃腸炎は一般に乳幼児だからと言って特に重症化することはなく、脳症などの患者さんはいませんでした。

結局、この 10 年間で予防接種の本数は倍増しました。それに伴って当院でも、2009 年度で 415 小児入院者中の 48 だった VPD は、2013 年度には 446 小児入院者中 24 と少し減少しているようです。入院数自体は近隣の小児病床の変化の影響を受けるので、あまり変わりありませんでした。今後も中央区に位置する良質な小児 2 次医療機関として、丁寧な診療をしてみたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

●日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール

2014 年 10 月 1 日 日本小児科学会



ワクチン	種類	乳児期										幼児期					学童期／思春期									
		生直後	6 週	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9-11 か月	12-15 か月	16-17 か月	18-23 か月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳以上			
インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	不活化			①	②	③						④														
肺炎球菌 (PCV13) (注 2)	不活化			①	②	③						④														
B 型肝炎 (HBV) ユニバーサル	不活化			①	②					③														①②③		
母子感染予防	不活化	① ②						③																		
ロタウイルス 1 価	生			①	②																					
5 価	生			①	②	③																				
四種混合 (DPT-IPV)	不活化			①	②			③				④						(7.5 歳まで)								
三種混合 (DPT)	不活化			①	②			③				④						(7.5 歳まで)								
ポリオ (IPV)	不活化			①	②			③				④						(7.5 歳まで)								
BCG	生							①																		
麻しん、風しん (MR)	生											①							②							
水痘	生											①		②												
おたふくかぜ	生											①							②							
日本脳炎	不活化															① ② ③		(7.5 歳まで)			④	9-12 歳				
インフルエンザ	不活化																								13 歳より①	
二種混合 (DT)	不活化																						11 歳 ①	12 歳		
ヒトパピローマウイルス (HPV)	不活化																						小 6	中 1 ①②③	中 2- 高 1	

定期接種の推奨期間

任意接種の推奨期間

定期接種の接種可能な期間

任意接種の接種可能な期間

添付文書には記載されていないが、小児科学会として推奨する期間

*この 10 年間で新しく追加されたワクチンを ①～④ で表示しています。

転倒予防教室

医療安全推進委員 芝 浩之
理学療法士

人は加齢とともに体力・筋力が低下し、転びやすくなってしまいます。一度でも転倒すると、外に出かけることが怖くなり、家に閉じこもりがちになったりします。そして動かないことで、さらに体力・筋力は低下してしまいます。その結果、家の中でも転倒を起こす可能性が高くなってしまいます。転倒による骨折は、介護が必要になった理由の第5位10.9%（平成22年）です。

福岡県内の様々な施設で“転ばないための体づくり”「転倒予防教室」が開催されています。今年度、当院でも医療安全推進活動の一つとして、歩行が自立している患者さんを対象に、平成26年度11月28日に転倒予防教室を開催しました。体操や筋力トレーニングとともに、脳の働きを低



下させない脳トレーニングを合わせたもので、18名の参加者とともに楽しく体を動かしました。皆さんからは「とても参考になった」「継続して開催してほしい」などの声をいただきました。今後も“転倒しにくい体づくり”のアドバイスができたら幸いです。

生活習慣病予防展を開催して

栄養課長 樋口 則子

平成26年11月10日～14日の1週間を通して、生活習慣病予防展を開催しました。

新病院移転後2回目で、南側ライトコートに面した休憩スペースにて、延べ400人余りの方にご来場いただきました。

展示コーナーでは、1,600kcalのバランス食を日替わりで展示し献立表を配布、栄養士が解説を行いました。また「塩分クイズ」、「ファイトケミカル（抗酸化物質）の働きについて」、看護師作成の「禁煙について」のポスター展示も好評でした。

各相談コーナーでは、栄養士による栄養相談・食事バランスチェック、看護師による生活相談・身体測定、薬剤師は服薬相談、臨床検査技師は血糖測定・血糖測定器メンテナンスを担当し、各疾患別の療養指導パンフレットの配布を行いました。

患者会紹介コーナーには、糖尿病患者会「浜の町会」や、がん患者会と支援者の会「南風（まじ）の会」会員の方がボランティアスタッフとして参加され、入会案内やお互いの体験談を語り合う等、患者さん同士のコミュニケーションの場となっているようです。

平成14年に始まった生活習慣病予防展、春と秋の年2回、栄養課と院内各部署の糖尿病療養指

導士が中心となり開催しています。

次回は平成27年3月2日～6日10:00～13:00の予定です。

みなさま、是非、お立ち寄りください。

【参考】糖尿病療養指導士資格認定者数
看護師19名、管理栄養士6名、臨床検査技師4名、薬剤師4名



クリスマスコンサート ～オカリナ演奏～



12月11日、浜の町病院1階ホールでクリスマスコンサートを開催しました。

南風の会がクリスマスコンサート始めて5回目になります。

病院スタッフの方が、1階ホールをクリスマスツリーで飾りつけて下さり、クリスマスムードたっぷりにステージを設えてくださいました。

「森の音楽家 shana」さんのオカリナとギターのクリスマスソングと懐かしい日本の歌の演奏は、聞く人に暖かいやさしいひと時を与えてくれました。

コンサート終了後、Shana さんのご厚意で9階緩和ケア病棟でもミニコンサートをしていただきました。

20名足らずの会員で運営している会が活動を続けていけますのは、栄養課、地域連携課、腫瘍内科部長三ツ木先生をはじめスタッフの皆様のお蔭と感謝しております。

がん患者が患者会を運営していくことは困難な状況ですが、病院に患者会があることの大切さを痛感する機会も多く、会員一同力を合わせて続けていきたいと思っています。

がん患者と支援者の会
南風の会 会長 佐々木恵子

市民公開講座スケジュール

地域医療連携課

平成26年10月20日、当院研修講堂で第2回市民公開講座「秋・冬の救急疾患」救急センター部長・廣津こう平、「インフルエンザとノロウイルス～かからない・広げない方法を身につけよう！～」感染管理部長・内田勇二郎の講義を開催いたしました。今後も定期的に開催いたします。

開催日時	担当診療科	コーディネーター	講座題名
2015/1/26	腫瘍内科	三ツ木 健司	乳がんについて「最近のトピックス」
2015/3/23	放射線科	松浦 隆志	放射線は怖い？怖くない？（放射線発見から福島原発事故、重粒子線治療まで）
2015/5/25	緩和医療科	永山 淳	がん治療を支える緩和ケア 診断時から治療中も、これからを考える場面でも
2015/7/27	糖尿病科	認定看護師 横山 管理栄養士 中山	知っ得!! 納得!! 糖尿病にならない・ なっても元気においしく食べるコツ
2015/9/28	消化器内科	瀬尾 充	ピロリ菌てなに？最近のトピックス
2015/11/30	呼吸器科	鶴田 伸子	肺炎～なおる肺炎、なおらない肺炎

上記の日程で、14：00～15：20の間、当院3階研修講堂で開催いたしますので、皆様方の参加をお待ちいたします。（ホームページに掲載）

■救急患者紹介連絡先 月～金（8:30～17:15）

Tel 092-721-9991（連携課直通）／ Fax 0120-721-991（連携課直通）

上記以外の時間及び土日祝

Tel 092-721-0831（病院代表）

（平成 27 年 1 月 6 日現在）

診 療 科	時間	専 門	月	火	水	木	金
救急センター		総合診療部 救 急	内田勇二郎 廣津こう平	内田勇二郎 廣津こう平	内田勇二郎 廣津こう平	内田勇二郎 廣津こう平	内田勇二郎 廣津こう平
内 科 ※腫瘍内科の新患は月～金の午後	午前	血液新患	衛藤徹也 —	齋藤統之 —	衛藤徹也 —	平安山英穂 —	第135吉田周郎 第24 河野一郎
		血液再来	吉田周郎	衛藤・河野	平安山英穂	衛藤・齊藤	平安山英穂
		循環器新患	片岡 伸	白井 真	白井 真	船越祐子	塩見哲也
		循環器再来	塩見哲也	船越祐子	藤田敦子	片岡 伸	白井 真
		消化器	尾石義謙	瀬尾 充	瀬尾 充	松野雄一	尾石義謙
		腫 瘍	三ツ木健二	田中史佐	田中史佐	田中史佐	三ツ木健二
		肝 臓	裴 成 寛	高橋和弘	具嶋敏文	高橋和弘	高橋和弘
		呼 吸 器	樋口和行 前山隆茂	樋口和行 鶴田伸子	樋口和行 鶴田伸子	鶴田伸子 前山隆茂	樋口和行 —
		内 分 泌	—	平松真祐	平松真祐	—	平松真祐
		腎 臓	澤田布美	—	—	澤田布美	澤田布美
		膠 原	松本優子	吉田鉄彦	出口孝史	出口孝史	吉田鉄彦
		感 染	—	—	吉澤誠司	吉澤誠司	—
		総合診療	内田勇二郎 内田勇二郎	内田勇二郎 内田勇二郎	内田勇二郎 当番医	内田勇二郎 内田勇二郎	内田勇二郎 当番医
脳神経センター ※脳外科（月・水・金）の午後、神経 内科の午後は、紹介患者と予約のみ	午前	脳 外 科	松角宏一郎 郡 隆 輔	手 術 紹介新患のみ （当番医）	松角宏一郎 瀬川浩介	手 術 紹介新患のみ （当番医）	松角宏一郎 郡 隆 輔
			—	—	—	—	—
		神経内科	松山友美	佐竹・松山	佐竹真理恵	佐竹・松山	佐竹（新患のみ）
	午後	脳 外 科	松角宏一郎 瀬川浩介	手 術 紹介新患のみ （当番医）	郡 隆 輔 —	手 術 紹介新患のみ （当番医）	松角宏一郎 —
			—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
外 科 ※木曜日の午後は Dr 大城戸への乳腺紹介のみ	午前	消化器・一般	許斐裕之 安蕨鉄平	一宮 仁 安蕨鉄平	前山 良 岐部 晋	許斐裕之 前山 良	一宮 仁 仲田興平
			—	—	—	仲田興平	—
			胸部 乳腺・甲状腺	大城戸・安蕨	大城戸・安蕨	岐部 晋	村上光彦
	午後	乳腺・甲状腺	—	—	—	大城戸政行	—
産 婦 人 科 ※受付時間は月・水・金 8:30～11:00 火・木 8:30～10:30 産科初診のみ婦人科で受付	午前	産 科	井上 令子	—	内田・前原	竹内麗子	今井・上岡
		婦 人 科	上岡陽亮	井上善仁	井上善仁	内田聡子	井上善仁
			内田聡子	竹内麗子	上岡陽亮	前原 都	上岡陽亮
			前原 都	井上 令子	井上 令子	今井裕美	内田聡子
			今井裕美	今井裕美	今井裕美	—	井上 令子
			—	—	—	—	—
整 形 外 科 ※新患は紹介のみ 月・水・金は受付8:30～10:30	午前	整 形 外 科	手 術 紹介新患のみ （当番医）	馬渡太郎 池村 聡 松井 元 藤村謙次郎 浜崎彩恵	手 術 紹介新患のみ （当番医）	池村 聡 井口貴裕 光安浩章 藤村謙次郎	馬渡太郎 松井 元 井口貴裕 光安浩章
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
形 成 外 科	午前	形成外科	松本大輔 東 修 智	手 術 紹介のみ（要 TEL）	松本大輔 東 修 智	手 術 紹介のみ（要 TEL）	松本大輔 —
			小藤秀嗣 山崎武成	秋武（予約のみ） —	小藤秀嗣 山崎武成	山崎（予約のみ） —	小藤秀嗣 秋武正和
泌 尿 器 科 ※午後は予約と紹介のみ	午後	泌 尿 器 科	小藤・山崎（予約）	手 術	小藤・山崎（予約）	手 術	小藤・山崎（予約）
			—	—	—	—	—
小 児 科 ※午後は予約のみ 内分泌第3木曜日／ 循環器第4木曜日のみ（予約）	午後	小 児 科	松尾光通 兒玉志保	園田有里 回 診	兒玉（暫） 武本（小児神経）	武本環美 1ヶ月健診	兒玉志保 園田有里
			予防接種	—	内分泌（第3） —	循環器（第4） —	健診・予防接種
耳 鼻 咽 喉 科	午前	耳 鼻 科	白土秀樹 玉江（予約再来） 岡（予約再来）	白土秀樹 玉江昭裕 岡 正 倫	手 術	白土秀樹 玉江昭裕 岡 正 倫	白土（予約再来） 玉江昭裕 岡 正 倫
			中野貴史	中野貴史		中野貴史	中野（予約再来）
			—	—		—	—
眼 科	午前	眼 科	肱岡邦明 安里 瞳	手 術 （当番医）	肱岡邦明 安里 瞳	手 術 （当番医）	肱岡邦明 安里 瞳
			—	—	—	—	—
皮 膚 科（新患は紹介のみ）	午前	皮 膚 科	竹内 聡 中尾匡孝	中尾匡孝 岩崎菜保子	竹内 聡 中尾匡孝	竹内 聡 岩崎菜保子	竹内 聡 中尾匡孝
			—	—	—	—	—
放 射 線 科	午前	放 射 線 科	松浦隆志 田中厚生	松浦隆志 田中厚生	松浦隆志 田中厚生	— 田中厚生	— 田中厚生
			陣内三佳子 舩本博史	陣内三佳子 舩本博史	陣内三佳子 舩本博史	陣内三佳子 舩本博史	陣内三佳子 舩本博史
			—	—	—	—	—
精神科※当院に入院中の患者のみ	午後	精 神 科	—	—	九 大	—	九 大
緩和ケア外来※原則として当院で診療を 行っている患者のみ 14:30～16:30	午後	緩和ケア外来	—	永山 淳	—	永山 淳	—
健康医学センター（要予約）	午前	外来ドック	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗
			—	—	—	—	—

＊受付時間：午前 8:30～11:00 午後 1:00～2:30

●発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会
委員長 大石 潔